

教科(科目)	理科（化学基礎）	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	新編化学基礎(東京書籍)				
副教材等	新課程ニューサポート新編化学基礎（東京書籍）				

### 1 学習目標

<p>物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</li> <li>観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。</li> <li>物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>
--

### 2 指導の重点

<ol style="list-style-type: none"> <li>化学に関する興味や関心を高めるため、身近な事物・現象を観察・実験などに取り入れる。</li> <li>化学を理解するために必要な基本的な知識・技術を定着させ、科学的に物事を考える力を養う。</li> </ol>
--

### 3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質や化学反応についての理解を深め、科学的に探究する技能を身に付けている。物質や化学反応についての理解を深め、科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

### 4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	化学や化学反応についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにしている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けるようにしている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けるようにしている。
評価方法	定期考査、授業への取り組み方、提出物、出席状況等を考慮し、総合的に判断する。	定期考査、授業への取り組み方、提出物、出席状況等を考慮し、総合的に判断する。	定期考査、授業への取り組み方、提出物、出席状況等を考慮し、総合的に判断する。

### 5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	1編 化学と人間生活 1章 化学とは何か	2		・身のまわりの物が何でできているか	a, b	提出物 定期考査

5	2章 物質の成分と構成 元素	8	物質の成分 物質の構成 元素 物質の三態	・純物質と混合物、元素、単体と化合物、元素の確認、物質の三態		
	2編 物質の構成 1章	5	原子の構造 電子配置と 周期表	・原子、同位体、原子の電子配置、周期表・イオンの生成、イオン化エネルギー、イオン結合とイオン結晶、共有結合と分子の形成、高分子化合物、配位結合、電気陰性度と分子の極性、分子間力と分子結晶、共有結合の結晶、金属結合、化学結合と性質の分類	c	提出物
6	原子の構造と元素 の周期表				a	定期考査
7	2章 化学結合	14	イオン イオン結合 とイオン結 晶 分子と共有 結合 金属と金属 結合			
9	3編 物質の変化 1章 物質質量と化学反応 式	10	原子量・分子 量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応の 表し方 化学反応式 の表す量的 関係	・原子の相対質量、原子量、分子量・式量、アボガドロ数と物質質量、1 mol の気体の体積、溶液の濃度、化学反応式、イオン反応式 化学反応の表す量的関係	a, b	提出物
10					a	定期考査
11	2章 酸と塩基	10	酸と塩基 水素イオン 濃度とpH 中和反応と 塩の生成 中和滴定	・酸と塩基の性質、酸と塩基の定義、広い意味の酸・塩基、酸と塩基の価数 ・水素イオン濃度、水素イオン濃度とpH、pH指示薬とpHの測定 ・中和反応と塩の生成、塩の種類 ・中和滴定の量的関係、中和滴定、滴定曲線	a, b	提出物
12						
1	3編 物質の変化	14	酸化と還元 酸化剤と還 元剤	・酸化と還元、酸化数と酸化還元反応、酸化剤と還元剤、電子の授受と酸化還元反応式、酸化剤と還元剤のはたらきの強さ、酸化還元滴定	c	定期考査 提出物
2	3章 酸化還元反応		金属の酸化 還元反応 酸化還元反 応の応用	・金属のイオン化傾向、金属の反応性 ・電池のしくみ、実用電池、金属の精錬	c	定期考査 提出物

3	終章 化学が拓く世界卷 未資料	5 2				
---	-----------------------	--------	--	--	--	--

計 70 時間 (50 分授業)

## 6 課題・提出物等

提出物はきちんと取り組み、期限を守って提出してください。

## 7 担当者からの一言

化学に関する基本的なことを日常生活と関連づけて学習します。常に主体的に考える姿勢を持ち、化学的な視点で表現できるようにしましょう。